

【ストクル+】 2025 年度売上の一部をフードバンク 3 団体へ寄付

能美防災の災害備蓄品寄付支援サービス「ストクル+」が、2025 年度の売上の一部を寄付金として進呈。寄付先は前年度から 1 団体増え、計 3 団体になりました。

能美防災株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長谷川 雅弘、資本金：133 億 2 百万円、東証プライム市場）は、災害備蓄品の循環サービス「ストクル+（プラス）」において、2025 年度実績として、フードバンク等 3 団体（全国フードバンク推進協議会、ふーどばんく OSAKA、他 1 団体）に寄付金を進呈しました。前年から寄付先を 1 団体拡大し、企業の災害備蓄品入替を社会貢献につなげる取り組みを、継続支援・寄贈先拡大の両面で進めています。



「ストクル+（プラス）」では、企業の災害備蓄品入替に伴う寄付先調整、配送支援、実績報告までを行っています。企業と寄贈先の双方をつなぎ、備蓄品を無駄にしない循環づくりに取り組んでいます。また、寄付金の進呈にとどまらず、企業備蓄品の入替を継続的な支援につなげるため、寄贈先との関係づくりや地域連携も進めています。

2025 年度は、昨年度に続く寄付金進呈に加え、備蓄品寄付支援の継続と寄贈先の拡大にも取り組みました。単発の寄付活動にとどまらず、こども食堂やひとり親世帯への支援などにつながる寄贈先との関係を深めながら、企業備蓄品を継続的な支援へつなぐ取り組みを広げています。

さらに、フードバンク団体への支援に加え、地域の支援機関とのつながりも広がっています。2025 年度は深谷市社会福祉協議会へのイベント協力など、寄付にとどまらない地域連携も進みつつあります。

ストクル+の詳細はこちら

<https://www.nohmi-service.jp/service/stockle>

寄付団体様からのコメント

寄付金進呈にあたり、各団体から以下のコメントをいただきました。

■一般社団法人 全国フードバンク推進協議会 コメント

ものを捨てるのではなく寄付することが、社会の中でより当たり前の選択肢として認識されていくことを期待しています。そうした中で、企業備蓄品の寄付を継続的な取組として広げていくことには意義があると考えています。

■認定 NPO 法人 ふーどばんく OSAKA コメント

企業にとっては、これまで廃棄していた備蓄品を必要とされるところへ届けられる点で、費用面だけでなく社会貢献の面でも意義がある取組だと感じています。私たちとしても、必要とされる先へつなぐことができるため大変助かっており、企業と支援団体が、お互いに良い形で支え合える取組だと考えています。



■今後の展望

「ストクル+」は今後も、フードバンク団体や地域の支援機関との連携を深め、企業の災害備蓄品入替を廃棄ではなく支援につなげる選択肢として広げてまいります。この取組みにより、企業にとっては処分コストや備蓄品管理に伴う負担の軽減、社会貢献活動としての社内外への発信にもつながると考えています。

「ストクル+」は、災害備蓄品を届けるだけのサービスではありません。備蓄品を、企業の想いを社会へつなぐ資源として捉え、事業として継続的に支援の仕組みを広げていく取り組みです。本サービスは、「企業の備えを、誰かの笑顔へつなぐ」ブランドとして、想いが循環する社会の実現を目指してまいります。

■会社概要

名 称：能美防災株式会社

代 表 者：代表取締役社長 長谷川 雅弘

所 在 地：東京都千代田区九段南 4-7-3

設 立：1944年5月5日（創立：1916年12月）

資 本 金：133億2百万円（東証プライム市場）

主な事業：各種防災設備・システムの企画、開発、設計、施工、保守と各種防災機器の設計、製造、販売

U R L：<https://www.nohmi.co.jp>

■本リリースに関する問い合わせ先

能美防災株式会社 特販事業部 担当：山野、脇山

お問い合わせは下記 URL よりお願いします。

https://www.nohmi-service.jp/contact_stockle



以 上